



平成23年2月19日

バーレーン、イエメン、リビアにおけるデモについて

1. 18日、バーレーン、イエメン、リビアにおいて発生したデモの結果、死傷者がでていることを憂慮します。

2. 我が国は、平和的なデモに対して、各国政府が平和的手段によって、抑制的に対応することを求めます。

3. 我が国としては、中東・北アフリカ地域において、法の支配と表現の自由の確立に向けた改革が前進し、同地域の安定と安全が確保されることを期待しています。

(参考)

<バーレーン>

●18日、前日のデモの死者の葬儀が行われ、参列者から改革を求めるシュプレヒコールが挙げられる等した。同日夕刻、真珠広場に向かって進んでいたデモに対して治安部隊が発砲。多くの死傷者が出ている模様（死者4名との報道もある）。

●18日、オバマ米国大統領はハマド国王と電話で会談し、抑制的な対応を求めた。

<イエメン>

●18日、首都サヌアで大統領退陣を求める数千名のデモが発生。南西部のタイズでは数万人規模のデモが発生し、政府支持派の手榴弾により1名死亡。アデンでは警官隊との衝突で反政府系市民3名が死亡したと報じられている。

<リビア>

- 18日、ベンガジ、ベイダ等の都市を中心に反政府デモが継続。ベイダでは、武装した反体制派と治安部隊が衝突。ベンガジでは、数千人規模の大規模反政府デモで、放火等の騒乱が深刻化。各地にも反政府デモが拡大発生、全土で数万人がデモに加わっている模様。
- 軍がベンガジに展開、アフリカ人の傭兵部隊がデモ鎮圧任務に当たっている。
- 国際人権団体によれば、18日までの3日間での死者は少なくとも46名。

◆ 内容についてのお問い合わせ先

外務省中東アフリカ局中東第一課 河原首席事務官(内線:2764番)

外務省中東アフリカ局中東第二課 菊地課長補佐(内線:2779番)

TEL03-5501-8000